優秀技術賞 特定部門

小嶋織物株式会社
紙 布 壁 紙

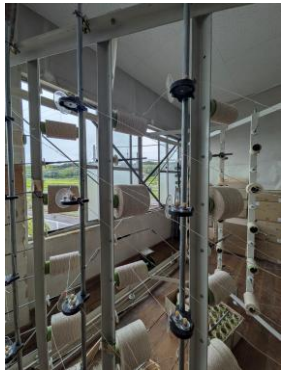
開発背景

壁紙市場ではビニル壁紙が主流で、織物壁紙の割合は約0.2%。
和紙糸を活かした新たな意匠性・高付加価値を持つ壁装材を開発。

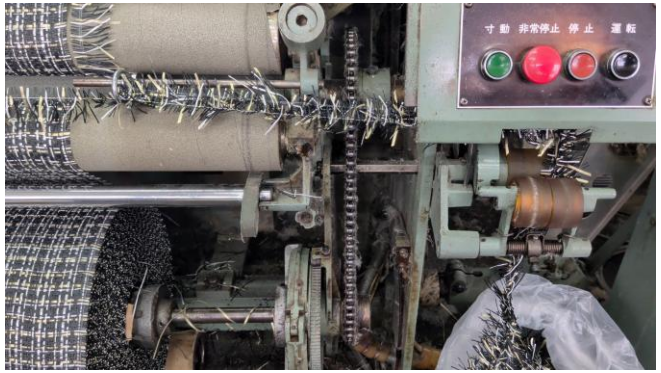
技術概要

安定した製織が困難だったが、整経機の糸送り、織機の緯入れ・張力、裏打ち工程を独自に改良し、紙布壁紙を製品化。





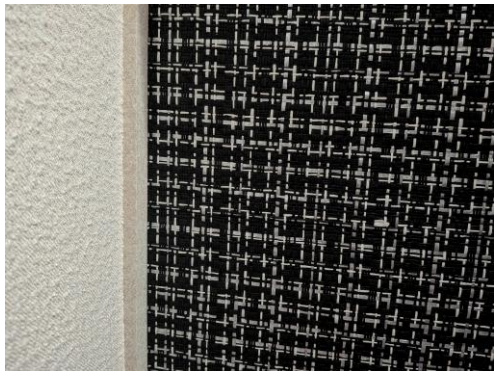
● 新たな配置で糸送りを採用した自社改良の整経機



● 和紙糸に過度な張力をかけないための緯入れ方法の改良



● 低伸度素材に合わせ、裏打ち・ラミネート工程も調整



和紙糸ならではの風合いと、
通気性・調湿性を活かした意匠性

和紙糸
硬い・撚れやすい
伸びが少ない

→

整経機を改良
糸送りを安定させるため
オリジナルの機械を製造

→

織機を改良
緯入れ・張力を
調整

→

裏打ち工程を調整
低伸度素材に
合わせて加工

→

紙布壁紙
独自の風合いと
機能性を実現

採用実績

国内外のホテル、ブランドショップ、カフェ、商業施設、企業オフィス、博物館などで採用されています。意匠性と豊かな素材感が求められる空間に最適な壁装材です。

開発期間
約3年
紙布壁紙を
一貫生産出来るのは唯一

今では
3台
専用織機

国内外含めて
壁紙受注に占める
約30%
が紙布壁紙となった